

# 水道施設・設備の新たなサービス

日水コンが提供する『Blitz(ブリッツ)』は、クラウドサービスの利点を活かした使い易さと便利さを実現し、かつ低価格のシステム(サービス)です。Blitz GROWは、浄水場・ポンプ場等の施設・設備管理に特化したクラウドサービスです。

施設・設備の台帳や図面などを素早く取り出し、日常業務の効率化・高度化、ストックマネジメント、非常時の災害対応など、将来を見通した事業経営を支援します。



## Blitz GROW

Blitz GROWは、浄水場・ポンプ場等の施設・設備管理に特化したクラウドサービスです。施設・設備の台帳や図面などを素早く取り出し、日常業務の効率化・高度化、ストックマネジメント、非常時の災害対応など、将来を見通した事業経営を支援します。

### 日水コンが考えるシステム構築

台帳システムを導入するだけでなく、業務調査による現況の業務フロー、システム運用後の業務フローを作成し、合意調整を図りながらシステム活用の仕組みを提案します。



## シチュエーションに応じた活用をご提案

Blitz GROWは台帳の電子化、アセットマネジメント、ストックマネジメントなど様々なシチュエーションに対応できます。本庁や浄水場のPC端末での利用に留まらず、クラウド型システムの特徴を活かし、現場へタブレット等のモバイル端末を持っていくことで、同じ機能を「いつでも」「どこでも」利用できます。



## Blitz GROWサポート

お持ちの図面やデータに合わせた、様々なサポートをご用意しています。

- ✍ デジタルデータをお持ちでないお客様へのデータ初期整備、運用開始後の施設設備データ更新
- ✍ お客様提供更新データによるBlitz GROWデータ更新 (お客様所有のシステムとBlitz GROWの連携運用をされる場合)
- ✍ 竣工図などのスキャン/登録、台帳図PDFの作成/登録、紙台帳図の印刷、製本

## 充実した機能

### 図面管理

- ✓ データ化された最新の現況図を登録し、設備と関連付けを行うことで、現場のどこにどのような設備があるか素早く確認できます。
- ✓ 登録できるデータは画像ファイルだけでなく、**CADファイル**でも登録することができます。  
(DXF、SFC、JW、DWG)

### 保安全管理

- ✓ 点検から修繕までの活動をデータベースに蓄積し、技術継承や健全度の判定に活かします。
- ✓ 点検や修繕を実施した際の承認・決済をシステム上で行うことができます。

### 診断分析

- ✓ 健全度のデータをシステムに蓄積することができ、更新・長寿命化シナリオがカンタンに作成できます。
- ✓ 作成されたシナリオに基づき、LCCの算定がシステム上で行えます。

### 更新計画

- ✓ 法定耐用年数、標準的耐用年数、目標耐用年数などケース別シナリオで改築需要を算定し、結果を可視化できます。
- ✓ 改築更新の平準化シナリオなども作成できます。

## 主な実績

| 受注年度             | 発注者         | 導入の背景  |
|------------------|-------------|--|
| 令和2年度<br>(2020)  | 福岡県<br>K企業団 | 水道法改正への対応、発注者がアセットマネジメントに取り組むために、水道施設資産について正確な現状把握を行い、必要情報をデータ化して、台帳として整備するとともに、今後のアセットマネジメントの実践のため、クラウド方式の設備台帳システム(Blitz GROW)を導入した。  |
| 令和元年度<br>(2019)  | 北海道<br>A町   | 下水道事業にて構築したクラウド方式の設備台帳システム(Blitz GROW)に対して、水道施設・設備のデータ管理と資産管理を適切に行うとともに、出先等の関係機関と一体的なマネジメントの実践を円滑に行うため、水道施設台帳データを追加搭載して、上下水道一体的で、確実かつ持続的な実施を支援する情報管理システムとしてBlitz GROWを導入した。  |
| 平成30年度<br>(2018) | 沖縄県<br>B市   | 完成図書と固定資産台帳で施設・設備管理をしていた。アセットマネジメントの検討は固定資産台帳を基に検討されたが、より正確な情報でシナリオ分析を容易に行うため、施設・設備のデータ整備とともに、水道施設台帳システムの構築を行い、改正水道法による施設台帳整備義務化への対応と運転維持管理等を円滑に運用するためBlitz GROWを導入した。   |
| 平成29年度<br>(2017) | 北海道<br>C市   | 既存のシステムがスタンドアロン型で、各浄水場・配水池・ポンプ場のデータベースを構築していたが、使い勝手が悪く、データ更新作業が停止していた。最新の状態でデータを更新するとともに、関係者が必要ときにアクセスできるデータベースとすることで、リアルタイム更新可能とし、情報共有と技術の継承を図る。そして、アセットマネジメント計画策定と維持管理の効率化のため、Blitz GROWを導入した。                           |
| 平成28年度<br>(2016) | 佐賀県<br>D市   | 市町村合併により膨大な施設を管理する必要に迫られたが、既存の台帳は旧市内の施設を対象に作成され、かつ、現況設備と固定資産の情報がかまくらマッチングせず、アセット検討(中長期更新需要算出、更新計画策定)に膨大な時間がかかっていた。現況設備台帳のデータ整備とともにデータ更新と資産除却処理にかかる時間の短縮化を図るため、そして、運転維持管理の効率化と点検データ蓄積を行い、アセットマネジメントを実践するためにBlitz GROWを導入した。 |

## 点検をもっとカンタンに♪

- ✎ 日々の点検がタブレットででき、多種多様な点検表を準備する必要がなくなります。
- ✎ 点検データをクラウドにアップロードするだけで、カンタンに蓄積できます。
- ✎ 現場作業者のアップロードした点検データは、管理者はリアルタイムに確認ができます。



- ✎ 点検アプリはコンクリート施設内などの電波が届きにくい場所(オフライン環境)でも利用できます。
- ✎ 写真・動画などもアップロードでき、現状報告がし易くなります。



点検アプリ

点検アプリを活用した  
作業風景

